

臨床試験概要

神経芽腫高リスク群に対するタンデム自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法 および抗 GD2 抗体療法併用の多施設共同前向き非盲検単群試験 (JN-H-25)

1. 研究代表者(氏名、施設)

高木正稔 東京科学大学発生発達病態学分野

2. 研究事務局(氏名、施設)

東京科学大学病院ヘルスサイエンス R&D センター

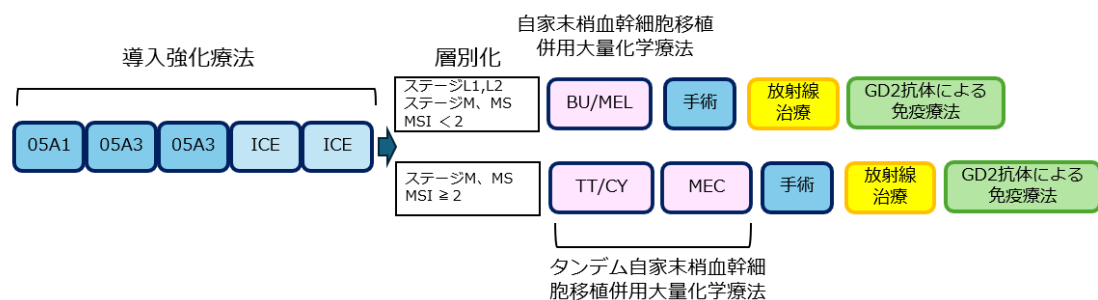
3. 目的

高リスク群の症例に対して、層別化によるタンデム自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を取り入れ、寛解導入、局所遅延療法としての手術、放射線治療、抗 GD2 抗体療法による集学的試験治療を実施することで、現在本邦で標準治療となっている JN-H-15 治療成績と比較し、3年無増悪生存率のさらなる改善を目的とする。また将来的に結果の得られるアロ移植の効果を検証する JN-H-20 の成績と比較検討を行う。

4. 対象

高リスク神経芽腫

5. 治療(シエーマ可)



6. 予定登録数と研究期間

予定登録数: 64 名

登録期間: 3 年 追跡期間: 登録期間終了後 5 年

総研究予定期間: 8 年 (2025 年 3 月から 2033 年 3 月予定)

7. 問い合わせ先

東京科学大学病院ヘルスサイエンス R&D センター

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL : 03-5803-5465